



県知事賞

第45回沖縄県老人福祉作文コンクールにて、3年宜寿次彩さんが、最優秀賞（県知事賞）を受賞しました。「祖母の介護で感じたこと」の題で、全応募作品88点の中で、トップに選ばれました。本来なら、10月29日(木)の県老人クラブ大会の中で表彰される事になっていましたが、コロナ禍により、12月15日(火)に校長室にて、老人クラブ連合会会長からの伝達受領となりました。おめでとうございます。



日教公沖縄支部より臨時給付奨学生の募集があり、推薦したところ、3年生の山川葉さんが選ばれました。與座参事に来校していただき、授与いたしました。山川さん、おめでとうございます。



PTA評議員会

第3回PTA評議員会が12月15日(火)18:30より、会議室で行われました。コロナ禍で多くの行事が中止や縮小で行われました。来月からは、次年度の行事や予算を考える必要があります。役員、評議員の皆様、宜しくお願いします。

本校では、予算を再配分して各部・各学年で行事を行い、レクの景品や飲食費。クラスのTシャツ等に予算を利用しました。



【中1レク】：ドッチビー

また、12月18日(金)に高校3年の共通テスト激励会や1月のレクや催し物など、行事はこれからの学年もあります。

X'masイルミネーション

中学校・高等学校合同の生徒会により、12月14日(月)に中学棟横にイルミネーションが飾られました。コロナ禍により多くの行事が中止となる中、高校3年生に対しての受験応援も兼ねて、12月24日(木)まで飾られます。LED電飾で飾られた、椅子も準備しています。ソーシャルディスタンスを保ちながら、写真撮影にでも利用してください。



生徒会の皆さん、ありがとうございました。

アドラーの言葉

「幸せになるためのたった一つの道」とは？

自分だけでなく、仲間の利益を大切にすること。受け取るよりも多く、相手に与えること。幸福になる唯一の道である。

アドラーは「共同体感覚」を持つことの大切さを繰り返し述べました。なぜならば、それこそが悩みから解放され、幸せになる**唯一の道**だからです。そして、共同体感覚とは「**他者に対する貢献**」により形成されると言いました。社会の中で居場所がないことは大変悲しいことです。しかし、泣き言を言っても誰も助けてはくれません。そうではなく、自ら居場所をつくるのです。そのためには「**他者へ貢献する**」ことから始めなくてはなりません。そのことにより、他者から感謝され、そして他者からもお返しとして支援され、社会の中に居場所をつくっていくのです。

このように、アドラーの提唱した共同体感覚には、キリスト教などの宗教、および現代の自己啓発理論と極めて近い概念が含まれています。そのため、アドラー心理学は、それまでの心理学者から「科学的ではない」と批判を受けました。しかし、健全な対人関係すなわち健全な人生を送るためには共同体感覚が不可欠です。

「自分の居場所がない」と感じるのなら、「周りの人が自分をわかってくれない」と愚痴るのではなく、自分から周囲に貢献するのです。そうすれば必ず居場所ができるはずです。